



MPH (Master of Public Health)

大学 院 生 募 集

地球規模の視野と、地域社会に役立つ
知識、技能を身につける

北海道大学MPHコースの特徴

社会のニーズに応えたプログラム

- 高齢化・過疎化、北海道独自の地域の諸課題
- 臨床研究の発展と企画能力の必要性
- 現代社会のグローバル化
- 気候変動に伴う災害の頻発

2年コース／1年コース[※] ※一定の実務経験を有する医師、歯科医師、薬剤師など

カリキュラム

- 平日夜間と土・日の講義、指導で仕事をしながらキャリアアップ
- 大学院共通科目を履修可能など総合大学の強みを活かした横断的な学び
- 高度かつ専門的な臨床研究の立案、実施技術の修得
- 社会医学系専門医認定のための基本プログラム研修に対応



※米国公衆衛生教育協議会に則したカリキュラム

人材養成

- 行政機関、企業・団体の健康管理部門における公衆衛生学専門家
- 医療機関における高度な公衆衛生学の知識を有する保健医療従事者
- 遺伝カウンセリングの専門家：認定遺伝カウンセラー（遺伝カウンセラー養成プログラム）など

社会医学講座

- 衛生学教室
- 公衆衛生学教室
- 法医学教室
- 医療政策評価学教室
- 医学統計学教室
- 医学教育・総合診療医学教室
- レギュラトリーサイエンス教室
- 先進医療マネジメント学教室
- 医療安全管理学教室
- ヘルスデータサイエンス教室
- 臨床遺伝学・医療倫理学教室

皆さんの疑問・不安に
お答えします

学んでいるのは？

- 各年5～10人程度（うち1年コースは数人）
- 医師（臨床、行政、産業）、保健師、看護師、薬剤師、理学療法士、栄養士、数学者、行政官など
- 学部新卒から卒後数十年まで

修了後は何に活かせるか？

- 病気・健康をみる視野の広がりデータ分析技術の修得
- 根拠に基づく保健医療の判断と実践
- 国際社会（WHO・JICA）専門家へのパスポート

仕事との両立方法は？

- 平日夜間と週末講義で必要単位数の取得可能
- 一定期間（4～7月）に夜間と週末の講義を集中
- 2年を超える長期履修制度利用可能

【入学試験】

出願期間：前期7月、後期11月

入学試験日：前期8月、後期1月

定員：20人（公衆衛生学コースを含む医科学専攻修士課程）

【受験希望者の進路相談】

出願前にご相談ください。希望する所属教室の責任者に直接連絡いただくか、以下に連絡をいただければ随時、対応いたします。

Email publichealth@med.hokudai.ac.jp

Tel 011-706-5068

最新の
入試情報は
こちら

